

教育理念	「学力がつく・やりたいことを極める」新しい高校	当年度の課題
目標（テーマ）	・基礎学力を身につけ高校卒業 ・学ぶ楽しさを再発見 ・したいことにチャレンジ ・徹底的な個人指導と親身なサポート体制	・学習指導要領に基づく、質の高い教育を展開できるよう、レポート及びスクーリングの内容の更なる充実と教職員の指導体制の強化に努める。 ・いじめの防止等に関する措置を実効的に行うためにいじめ対策委員会を運営する。 ・コンプライアンスの取り組みを強化し、より質の高い学校運営をする。

※評価基準…A 十分達成できている B 達成できている C 概ね達成できている
D 不十分である E 出来ていない

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	評価	評価の観点と理由	改善方策
学校運営	教育課程	教育目標	多様な生徒の学力・体調面など、個々の状況に応じた適切な支援・指導を目指すものになっているか。	A	・教育課程は左記内容の実現に向け標準的な履修科目以外の科目も、柔軟に選択できるように編成されている。 ・入学時、進級時の履修相談では各家庭と丁寧に対話を重ね生徒の希望に応じた履修を実現できた。	・引き続き生徒の学習状況の把握に努め、柔軟な対応を行う。
		学習指導要領の対応状況	教育課程は学習指導要領に準拠しているか。 また、その編成・実施の考え方について教職員間で共有ができているか。	A	・教育課程は学習指導要領に準拠している。 ・教育課程の編成、実施の考え方についての共有もできている。	・引き続き学習指導要領に沿った教育課程を編成、実施する。
	教職員連携	組織運営	校務分掌や主任体制などが適切に機能するなど、学校運営・責任体制が整備されているか。	A	・組織運営や校務分掌、各主任及び主事体制が適切に運用された。 ・メンター教員による新任教員へのサポートも適切に行われた。 ・スクールロイヤーを委嘱し、コンプライアンスやトラブル対応など様々な局面でアドバイスを受けるようにした。	・校務分掌や主任体制は整備されているが、学校や生徒の状況に応じて新たに部を設けるなど、柔軟な姿勢を引き続き維持する。 ・教員間、事務職員間の連携・情報共有のため、引き続き職員会議を更に質の高いものにしていく。 ・各主任、主事が適宜自発的に分掌会議を招集していく体制づくりを行い、情報共有や意思統一を図っていく。
		教員・教科間の連携状況	教職員間の相互理解がなされ、共有及び信頼関係が構築された教育活動が行われているか。	A	・メールや意見交換アプリを用いて引き続き教職員が意思疎通できる体制を保つことができた。	
		教員と事務職員の連携状況	教員と事務職員の情報交換の機会があるか。 また、それらの機会を通して、相互理解及び連携がとれているか。	A	・定期的な運営会議、職員会議を通じて教員と事務職員の情報交換ができた。 ・事務が学習管理アプリを用いて適宜学費に関する情報発信を行い、教員も事務に協力する体制ができた。	
		会議の有効性	職員会議や運営会議などの共通認識・共通理解のもと、有効かつ効率的に機能しているか。	A	・共通認識を持つことができている。また予め会議の内容を共有し全参加者に目を通してもらうことで議論に使う時間を生み出す工夫ができた。	・メールでの情報共有も活用し会議で議論がより活発になるよう引き続き運営する。
	学校設置会社及び財務関係	学校設置会社の役員	学校を運営するにあたり適切なものとなっているか。 また、その状況は学校設置会社の役員及び株式の状況が事業報告書に記載されているか。	A	・役員・決算(IR)状況は、学校を運営するにあたり適切なものである。 ・ブロードメディア株式会社のHPの「企業情報」「IR情報」「有価証券報告書」のページに決算状況が開示されている。	・引き続き適切な運営、情報公開に努める。
		学校の経営に必要な財務等の状況	学校を運営するにあたり適切なものであるか。また、その状況は学校の経営に必要な財産等の状況が事業報告書に記載されているか。	A	・学校設置会社の経営及び財産に関する状況は学校を運営するにあたり適切なものである。 ・東京証券取引所上場企業として必要な情報公開を行っている。	
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務について点検体制を確立し適正に執行しているか。	A	・就学支援金については、事務部により適正に執行されている。	・必要時には教員も協力し、引き続き適正に行う。
	施設及び設備	面接指導等を実施する施設・設備	面接指導等を実施した校舎の施設・設備は教育上適切であったか。	A	・スクーリングは特区域域内の学校で適切に行われた。 ・すべての授業で定員40名を超えることなく実施できた。 ・車いすを利用する生徒の受け入れに際し、バリアフリーのお手洗いを設置している。	・引き続き多様な事情を持つ生徒に設備面で柔軟に対応できるよう努める。
	危機管理	役割分担	事故・災害などに対する教職員の連携及び役割分担が明確になっているか。	B	・関係各所（警察・消防・学校医など）の連携はとれており、危機管理マニュアルを整備するとともに、事件・事故・災害などの際の対応体制は整えている。	・役割分担の見直しは柔軟に行う。・教職員の増員もあつたため、再度全職員への統一した危機管理対応ラインの浸透と定着に向けた指導の実施を行う。 ・事故の未然防止のため安全点検管理を強化する。・教職員の増員もあつたため、再度全職員への統一した危機管理対応ラインの浸透と定着に向けた指導の実施を行う。 ・災害等に備え、避難訓練を行うとともに、マイページでの生徒への啓発活動を行う。・教職員の増員もあつたため、再度全職員への統一した危機管理対応ラインの浸透と定着に向けた指導の実施を行う。
		安全管理	安全な学習環境づくり(校舎の内外の安全点検管理及び諸活動)を推進しているか。	A		
		危機管理対応状況	危機管理マニュアルに基づき、警察、消防と連携するなど、安全対策がとれているか。	B		
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A	・プライバシーマークを取得している。(2017年) ・個人情報管理に関する研修も定期的に行っており、生徒のプライバシーの確保を維持している。 ・コンプライアンス研修をオンラインで毎月行い、その充実に努めた。	
教育内容・支援	面接指導・添削指導等	スクーリング参加状況	年間計画に基づいたスクーリング実施と参加の促進が行われているか。	A	・学校定員と例年の出席率を考慮したスクーリング実施回数を設定し実施できた。スクーリング終了率を定期的に担任教員と共有することで、担任からスクーリング参加促進が適切にされた。	・引き続き担任が個々の生徒の体調や事情を把握し、スクーリング受講について柔軟に対応する。
		スクーリングの内容・運営状況	学習指導要領に則り、適正な時間数・規模で行われているか。 各科目担当者が創意工夫を行い、生徒の興味・関心・意欲が高められる授業を展開しているか。	A	・学習指導要領に則り、適正な時間数、規模で行われた。 ・学習管理アプリ、掲示板アプリを用い生徒が授業中に意見を述べやすい環境を作ったり、生徒同士のコミュニケーションや実験、グループワークを授業に取り入れるなど、各教員が工夫を重ね生徒主体の、学ぶ楽しさを実感する授業を引き続き展開できた。 ・研修部主導で相互の授業見学を行い、全教員がより良い授業づくりをさらに意識する機会を持つことができた。	・授業満足度を高める研修を全教員に実施できたので、今後はその研修をさらに充実させる。
		レポートの内容・添削並びに生徒の学習(提出)状況	学習指導要領に則り、興味・関心・意欲が高まるよう教材の内容を工夫するとともに、複数メディア導入に伴う生徒の学習成果の確認を的確に行っているか。 生徒一人ひとりの学習状況に応じた解説を加えた指導を行っているか。 インターネットを活用した添削指導に遅延がないよう、計画的に業務を行っているか。	B	・各科目の動画は随時修正を加え、生徒の学習成果が上がるように改善を続けている。 ・レポート問題についてはレベル別問題(不正解した問題は問い方を易しいものに改め問い直す問題)を入れ生徒の習熟状況に応じたものを加えている。 ・添削指導に遅延がないよう各教員にメールにて注意喚起しているが、一部科目で遅延が続いた。 ・添削指導については個々の解答に対しより丁寧に解説を加えることができた。	・レポート添削については複数教員が分担することで遅延を無くす。
		試験	試験の実施	A	・定期試験は年度末に、レポートとスクーリングを終えた上で、教員監督下で適切に実施している。試験問題は一年の学習内容の成果が評価できるものになっている。	・試験内容を引き続き定期的に見直し、生徒の学習成果を評価できる内容を維持する。
	情報発信	ネット回線の有効活用	独自でネット開設している連絡・学習サイト「マイページ(通称)」にて、タイムリーな情報提供を行っているか。	A	・マイページのお知らせ欄は項目別に改修し、より生徒保護者に情報が伝わりやすいものにできた。	・今後は本校マイページアプリの通知機能をさらに利用し、更新された情報について都度マイページ確認を生徒保護者ともに促す。
		個人に対する効果的な情報提供	上記「マイページ」にて、生徒及び保護者が、学習進捗の確認や各分野毎(進路など)の情報が閲覧できるようになっているか。	A	・スクーリング状況、レポート進捗状況は生徒及び保護者マイページで確認できる仕様になっている。	
	情報教育	情報能力知識	各種活用能力の知識を向上させているか。	A	・レポート及びスクーリングの授業において、情報活用能力の知識を身に付ける教育活動、情報モラル教育を実践している。情報モラル教育においては、保護者を巻き込んだ教育活動を展開できたとお良かった。	・保護者を対象にした勉強会の実施を検討する。
		情報モラル指導	情報発信・公開に伴う責任など情報モラルの教育に取り組んでいるか。	B		
生徒・進路・保健指導	生徒指導	指導方針の一貫性	指導方針に従い、生徒及び保護者の満足度(進級卒業・進路決定など)が高められているか。	A	・自立に向けて主体的に行動を起こすことができる力の育成と他者を思いやる態度を養う方針は共有されている。	・生徒数の増加とそれに伴う教員数の増加の現況下、実践に応じた研修も必要と考える。 ・スクールソーシャルワーカーを通じて各行政機関との連携を強化し、より質の高い生徒指導ができるよう努める。 ・いじめに関しては未然防止策として、軽微な兆候を見逃さない、教員間の情報共有、保護者との関係構築など当たり前のことをより徹底する。
		教員の共通認識と研修	学校組織に基づき、生徒が安全に諸活動ができるよう、共通認識のもと、情報の共有を図りつつ整合の取れた運営がなされているか。	A	・全教職員に生徒指導方針を共有し、新任教員にも研修を行った。 ・問題を未然に防ぐためスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、スクールロイヤーと連携した。 また問題が起きた際に全教職員に情報を公開し、進捗状況や対応内容を説明した。	
		家庭との連携状況	計画的かつタイムリーな連携をとり、充実した学校生活が送れるよう支援しているか。	A	・問題が起きた際、被害者側であればケアを中心としたことを保護者に連絡し、加害者側であれば内容によっては即時保護者に来校いただき問題解決に向けて本人の指導を中心とした話し合いの場を持つことができた。	
		いじめ等の問題行動の未然防止	すべての生徒が安心した学校生活を送れるよう、基本方針に基づき、いじめ対策委員会が設置され、適切に運営されているか。	B	・定例のいじめ対策委員会を開催したが、昨年度はいじめ問題の報告はなかった。	
	進路指導	キャリア教育	生徒一人ひとりの状況に即し、主体的な進路選択に結びつく適切な指導をしているか。 「大学入学共通テスト」等への進路指導・生徒対応は充分に行えたか。	A	・進路情報を本校マイページ、学習管理アプリを用いて発信し、生徒保護者だけでなく全教員に周知できた。 ・進路説明会、就職説明会、共通テスト説明会を実施、後日記録を配信することで生徒・保護者に適切な情報を提供することができた。 ・教員研修を実施し、担任教員が進路指導方法について共有する場を持つことができた。	・引き続き担任教員と進路指導部が協力し、きめ細やかで適切な指導を行える体制を維持する。
	保健指導	健康の保持増進	生徒が心と体の健康を自ら管理できる知識と実践力を育成しているか。 健康診断・歯科検診および保健指導は適切に行えたか。	B	・心と体の健康管理ができるように、特に心については教員だけではなくスクールカウンセラーや行政と連携をはかりサポートをすることができた。 ・健康診断は各自で受診することから、2024年度健康診断票回収率が58%程であり、この点は不十分であるが、昨年度の回収率47%からは向上している。	・健康診断・歯科検診を任意と考えるご家庭が多いため、マイページを活用し、また担任教員が協力し、全生徒の受診を目指す。
その他	教職員研修		教職員が計画的に校内研修に参加できる習慣や体制が整備されているか。	A	・毎月オンラインによるコンプライアンス研修を全教職員が受講している。 ・姉妹校合同による初任者研修を行った。	・校内研修の見直しを毎年行い、必要な研修を精選したい。
	他校及び関係機関との連携		姉妹校(大子校、豊田校)や全国私立通信制高等学校協会加盟校、通信制高校の在り方などについて情報交換等を行い、学校全体の教育力を高めることに努めているか。	A	・毎月行われる設置会社主催の本部会議において、姉妹校との情報交換等を行った。 ・全国私立通信制高等学校協会の研究会に管理職が参加した。	・姉妹校があることのメリットを最大限に活かし、連絡を密にとり、運営方法全般に関する事例等を共有できる仕組みづくりをさらに整えていくなどして、教育力の向上を図りたい。 ・校舎横断型のプロジェクトの設置を行い協力体制を構築する。

校長 教頭 事務長